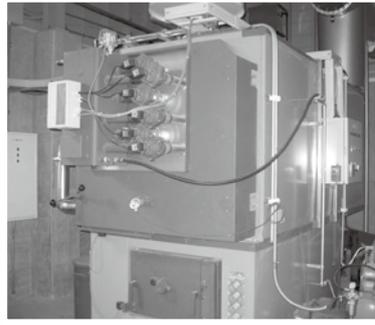


# 木質ペレット仕様 に改修し 再稼働します

林業振興課 ☎0824・73・1130



▲木質ペレット仕様に改修する木質チップボイラー

市は本年3月、市の健康増進施設「リフレッシュハウス東城」に併設された稼働停止中の木質チップボイラー施設を取得しました。

この木質チップボイラー施設は、庄原市内の林地残材、間伐材などの木質バイオマスの有効活用を目的として、

(株)ジュオン（破産手続中）が平成19年度に地域バイオマス利活用交付金事業で整備したものです。燃料は、同社が三次工場で庄原市内の木材を破砕・乾燥させ、乾燥チップを製造し、ボイラーへ供給していました。

しかし、平成22年11月末、(株)ジュオンの営業停止、破産申立予定告示により、木質チップボイラーの稼働が停止したため、以降、灯油ボイラーのみで稼働していました。

木質チップボイラーの再稼働にあたっては、市内には乾燥チップを製造する事業者がないことから、市内で安定して供給できる「木質ペレット」を使用できるよう改修し、当初の目的の達成を図ります。

木質ペレットボイラーとしての再稼働は来年1月からの予定です。

## ◆活用の効果

木質ペレットの利用は年間300トン（原料ベースで約600トン）と試算し

ており、灯油使用量を抑えることができ、年間約180万円の燃料費削減が見込まれます。

今回の改修工事は、燃料供給装置、ペレットサイロの設置などを行うもので、ボイラー本体は現在のまま用いることができ、改修予算は約464万円です。

## ◆木質ペレット仕様に改修する理由

取得した木質チップボイラーは、含水率DB（※）50%以下の乾燥チップで正常に稼働する仕様となっていますが、市内には乾燥チップを生産する既存の事業者がいません。近隣の事例では、自然乾燥によるチップ製造施設の整備費用に約3千万円を要しており、新たな施設整備には多額の費用がかかります。

一方、市内には含水率基準に適合する木質ペレットの製造施設（庄原さとうやまペレット(株)）があるため、木質ペレットの安定供給が可能です。

また、木質チップボイラーの改修費は約464万円であり、この費用は3年間の燃料費削減効果540万円（180万円×3年）により回収できることから「木質ペレット」仕様に改修することとしました。

※DB（乾量基準含水率）とは、木材に含まれている水分の重さが、水分を除いた木材の実質部分の重さに対して何%かを表した含水率です。



リフレッシュハウス東城の露天風呂